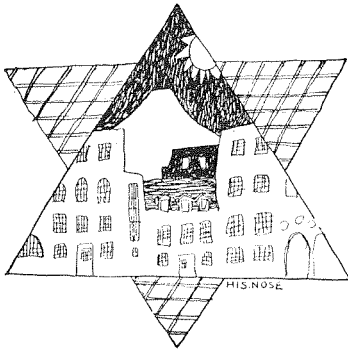


工事タイムス



工事タイムス

—鐵道—

○**參宮急行電鐵** 宇治山田間を連絡する同建設工事のうち青山トンネルは三月十三日から坑口の掘鑿に着手した同トンネルは延長2哩10鎖兩勾配の單線型で掘鑿はトンネルの西口の三重縣名賀郡上津村地内通稱伊賀茶屋、東口の一志郡倭郡地内黒谷の兩端から着手するので、そのため東西兩口に變電所を置いて100馬力のコンプレッサーを設置するトンネルの勾配は西口からは三百廿分の一、東口から廿分の一の上りで、このトンネルを中心に附近西方一つ、東方に四つの小トンネルを別につくることになつてを、三月から向ふ二ヶ年半で完成の豫定。

○**大阪驛の擴張** 大阪鐵道局の移轉と貨物驛の新設工事等で大阪驛は大擴張されつゝあるが旅客驛も設計既に終りたる由。

○**伊勢電鐵** の延長工事たる四日市から桑名間の敷設工事は今秋十月までに竣工の豫定で昭和五年までには名古屋から宇治山田間を連絡する由である。

○**大阪市高速度** 地下電車の計畫は三期にわかつて行ふこととなり、その

第一期事業は第一路線の東淀川區南方町から新淀川を渡り大阪驛の北横手をすぎ御堂筋の地下を南下し難波驛、天王寺驛、西田邊驛を通つて住吉區我孫子に至る延長十マイル〇九、及び軌道が並行し工事と同時に施工するを便宜とする。第二號線中の芝田町から大阪驛前に至る〇マイル七〇と、天王寺公園南端から終點に至る延長〇マイル六三、並に第三號線の本津大國町から省線關西本線南に至る延長〇マイル五六の各豫定線を、本年十二月から着手して昭

和七年までに敷設することになり、その事業費は7千9百12萬7千2百86圓であつて、本年度には2百7萬5千4百15圓を支出し、第一號線芝田町から本町まで(一マイル五九)を昭和六年三月までに竣工せしめる由。

○**東京驛の地下道計畫** は工費8百萬圓にし近く改良委員會に附議する由。

○**阪和鐵道工事進む** 大阪市天王寺と和歌山市とを連絡する38哩余の阪和電氣鐵道工事は起點より第三工區迄は既に五分通り進行し、其他第九、十、十一の三工區は最近工事に着手した、全線のうち最も難工事とされる大阪府と和歌山縣との境をなす雄の山トンネル(第八工區)5,088呎の掘鑿も目下4,300呎を進み、大和川、紀ノ川の架橋工事も近く着手の豫定で、來年中には全線竣工の由。

—建築—

○**麻布三聯隊の新築兵舎** は第一師團經理部の原田技師が設計し、鐵筋コンクリート四階建總建坪9千坪、工費約3百萬圓で松村組の請負により最近竣工したが地下室は大浴場、一階は炊事場、——この炊事場は新式の電氣炊事で明るく広く非常に氣持がよく三階は新式ベットを入れて寢室になり四階は大食堂になる、物品は總てエレベーターで昇降し、屋上には洗面臺が出来上つてゐる、防寒裝置も從來のストーブをやめてステイムが通る。

○**新築の大阪刑務所** は三月十七日落成した、工事は大正七年より繼續事業として工費豫算百80萬圓を計上して着手し、さらに26萬9千圓を追加し増築したものである、この工事については一切を受刑者の勞力にまつて、主要材料たる煉瓦のごときは原土を十八町を去る淺香山南方から採取し、また砂利は十町余を隔てた大和川上流からいづれもこれを運搬製作したもので、ために宏壯なる近代ゴシック式建物は豫想外に安くできあがつた、總敷地10萬4千坪、正面玄関さきは8千余坪の瀟洒な庭園さへもつてをり、收容人員三千九百名、設備において建築において正に東洋一を誇つてをる。

○**住宅建築費** は昨秋よりは今春が二割底下した、東京府下の某町營住宅建築の入札で昨年坪當り90圓のものが本春同様の入札で坪當り69圓で前年よりも寧ろ良いものが出来た、此の住宅は土臺廻りコンクリート、主材米楯、建具米杉、瓦葺平家、今が住宅の建時。

○早稻田小學校 牛込の早稻田に東京市第一と云ふ小學校が五月十六日落成式を擧げた、鐵筋コンクリート三階建、延坪1,984坪、工費86萬圓、活動寫眞の映寫室の外設備の完全なる事が特長。

○東京市公會堂 日比谷公園の一角に工事中の同建物は五月十六日會長後藤子爵司會の下に華々しく定礎式を擧行した、尙ほ目下鐵骨組立工事中である。

○首相官邸 は經費235萬圓で大藏省營繕管財局工務部に於て設計麴町區永田町に施工中であるが五月十日盛大なる上棟式を擧行した。

○震災記念堂 豫算100萬圓の中やつと70萬圓の寄附を得て、設計變更二回に及び今春定礎式を濟したが、起工式は七月頃になる由一方横濱市の方は掃部山公園に建設中の記念堂が竣工したので九月一日に盛大な献堂式を擧行する由。

○建築相談所 警視廳では四月一日から東京府下の建築法新施行地三十四ヶ町村内に五ヶ所の建築相談所を新設する事になった。

○同潤會アパート好績 住宅難緩和のため内務省同潤會が東京市隣接町村に木造住宅三千五百戸、アパートメント千二百戸を建て貸付てあるが、アパートメントの申込者は二十五倍にも達するので近く又日暮里、三の輪、深川、虎の門に大アパートメントの建築工事に着手したが、現在迄の居住者は細民街の方も家賃の滞納皆無にて棟毎に世話役を設け、貯金の會を造り頗る好成绩である由。

○淺草觀音堂 の大修繕につき經費3萬5千圓の假本堂も落成したので五月十五日遷座式を擧行した。

○ワグナー氏を偲ぶ オーストリーの近代名建築家オット、ワグナー氏逝いて十年の記念講演會が四月二十九日國民新聞講堂で開催された、司會者は石本喜久治氏で、瀧澤眞弓氏のゲルマン民族と文化、岸田日出刀氏はワグナー氏の建築を紹介し、伊東忠太氏はセッションの回顧を講演された。

○牛込區役所落成 笹筒町に新築中であつた近代式鐵筋鐵骨コンクリート地下室とも四階建工費30萬圓である、三階は議事堂を兼ねた公會堂で約600人の收容力を有してゐる。

——港 灣——

○川崎河港竣工 川崎市が工費50余萬圓を投じた日本最初のも多摩川河港工事は内務省の金森誠之博士の設計及び監督にて本年三月無事竣工した。

○松江の新築港 は本年四月から起工し工費16萬余

圓四ヶ年の繼續事業である、長230間の岸壁、水深15尺の水路等を造り千噸級の船舶を自由に航行せしむる由。

○舞鶴港修築計畫 は總工費230萬圓を以て岸壁210間、物揚場850間、浚深掘鑿48,000坪、埋立64,000坪其他で、竣工後は3千噸級二艘、2千噸級二艘を同時に繋留するの案を三月二十七日の港灣協會の常議員會で決定した、近き將來に實現性可能と認められてをる。

——道路、橋梁——

○簡易鋪裝の發明 東京市土木局の道路試験所で最近特許申請を行つた新鋪裝は、水に或る種の藥品を入れてアスファルト乳濟を作り之を既成の砂利道に撒布すると水分は蒸發し他の部分は地下に吸収されて黒くして薄い固つた皮膜が出来る、之に砂利を撒布するのである、耐久力も五年位であると報ぜられる。

○東洋一の吉野川橋 開通後は一躍東洋一の長橋となる徳島縣吉野川架設工事も今や着々工程を進め、すでに十七のワーレン(釣構)のうち十二まで完成し本年十月には開通の運びである。着工以來滿三ヶ年工費は下部に43萬4千圓上部に67萬圓、計110萬餘圓を要した、橋は鋼鐵ワーレン式カーブト・コールド・トラス橋で有効幅員3千5百11呎奔突する四國三郎の流れに根を沈めた16基の鐵筋コンクリート橋脚上に架渡す虹のごとき鋼鐵の橋梁は自重實に二千五百三十九噸に及ぶ。

○穴吹橋落成 徳島縣美馬郡穴吹町の吉野川に架設せる同橋は工費33萬餘圓岡山市三戸岡組の請負で支肘式ワーレントラス橋及び鋼桁橋で、長さ1,367呎6吋、有効幅員18呎にして近代的な美事なものである。之も最近落成した上流の吊橋三好橋と相まつて偉觀を呈する。

——視察會合——

○建築學會 は在京會員の建築學研究の爲毎月市内著名の建築工事の見學を行つて來たが三月十六日全國會員の爲に見學大會を開催して、見學團を三班に分ち、その一班は帝大圖書館の工事を主として其他の大學内の大工事及新議事堂の建築を視察した。

○土木學會の見學旅行 は五月十三日富山縣に出發十五日歸京したが、東洋第一の庄川水力電氣會社の大堰堤工事及び黒部川の水電工事を視察し、富山、高岡、宇奈月等にて官民聯合の大歓迎を受けて非常

な盛況であつた。

○帝國鐵道協會三十周年の記念祝賀會は五月十九日丸ノ内南樂町の同會館にて舉行、來賓、田中首相小川鐵相、望月遞相其他出席會員とともに約九百名に達し盛會を極めた、工事書報社は當日協會の手を経て鐵道書報を出席者全部に贈呈した。二十日は第二十五回總會、二十一日は物故會員の追悼祭、二十二日より多數會員は郊外鐵道の視察をした

——人 事——

○坂出鳴海 大阪市役所港灣部長を経て都市計劃部長たりし氏は今回退職された。

○岩田實 大阪市役所土木部長として多年勤続せられたる同氏は今回退職され教育事業に携るとの事である。

○島重治 内務省土木局第一技術課長たりし同氏は今回内務省を辭し大阪市役所土木部長に任ぜられた。

○前川貫一 内務省名古屋土木出張所長たりし同氏は今回本省土木局第二技術課長に轉任された。

○辰馬鎌造 内務省東京土木出張所在勤の勲任技師同氏は今回名古屋土木出張所長に轉任された。

○川崎造船所と川崎車輛會社 川崎造船所は今回兵庫工場を分離して川崎車輛株式會社として前の神戸市長神島房次郎氏を社長とし、從來の業務一切を繼承する由、尙ほ元兵庫工場長下田文吾氏は川崎車輛の専務取締役たる由。

——雜 錄——

○東洋一の無電鐵塔 工費4百萬圓を以て逓信省が愛知縣碧海郡依佐美村に計畫した對歐無線電信局(送信)は日本無線電信株式會社の手で工事施工中であるが最近高さ250メートルのアンテナ鐵塔二本出來した、全部で八本の鐵塔も今年七月迄には竣工の豫定で目下毎日二百名の人がこの塔の上下で働いてゐる、塔の上のぼるには十五人乗りの繰揚式エレベーターがある。

ところが八本の鐵塔全部の上に總延長八百二十五間(一千五百米)の大アンテナが十六本架設せられ、八本を一組として二組をつくり、地氣線はラヂアル・アースで空中線下の田畑百五十三丁歩の地下3尺のところ網のやうに埋め發信機はテレフンケン式高周波發電氣百十キロのもの四臺を据付するためドイツからラインハルト技師が名古屋に滞在して目下据付を急いでゐる。

○薩摩藩士の忠魂堂 寶歴年間薩摩藩士が木曾、長良、揖斐三大川の治水工事に盡くした功績と忠烈な最期を記念し、三重縣桑名町海藏寺では忠魂堂の建立を計畫し、廣く寄附金を募つてみたが、1萬餘圓集まつたので、近く工事に着手するはず、忠魂堂には八十四名の義士の像を安置する計畫。

○東京市の奉祝 今秋の御大典に市民の奉祝會場たる上野公園の廣場を2萬坪に擴張し10萬人を收容する大會場を作る筈。

——鐵 道 の 今 昔——

那波光雄博士講演の一部より(係)

我國に於て初めて鐵道工事に着手したのは明治三年で、今日よりは五十八年前であります。此時分から今日迄を工事施行方法、又は工事執行組織等の上から見て時期を四つに分つことが出來やうかと存じます。

第一時期 と申しますは明治三年から同十一年の間にて、主として英國人に工事を委託し、その人の意の儘に工事をなさしめた時代であります。又一面から見ますと我邦人技術者の養成時代とも申す事が出來ます。

第二時期 明治十二年から二十八年迄と致したいと存じます。此時期は邦人が工事の主任となつて外人は顧問又は後見人と云ふ格で居つたのですが、漸次邦人が外人の位置を占め、二十九年に至り外人は全く跡を絶ちました。

第三時期 二十九年より四十四年に至る時期と致します。此時代は工事施行法の日本化時代、或は日本技術家の獨立時代とでも申しても宜しからふと存じます。即ち此の時期に工事の輕易化又は經濟化と申しませうか、低廉なる勞働を利用して工事を手輕にやる事が非常に發達したやうに思ひます。

第四時期 大正より昭和の御代に涉りてであります。前三期の末期には已に機械使用の機運が兆しつゝありし際、世界大戰が勃發しまして勞銀は非常に騰貴し、又勞働者の拂底を告ぐるに至り、彌々施工法の機械化が具體化され、此に第四時期は施工法の機械化時期となつたと申して差支なからふかと存じます。殊に大正十二年の大地震後の復興事業は一層に機械化を促進し又 Fullor 建築會社や其他の外國建築會社の渡來して新工法を眼前に示し機械の應用と科學的經營の知識を廣く邦人に注入して呉れました事は大に感謝すべきで是れが爲めに施工法の革新を助けたことと思ひます。